

Information

◆10月例会

日時：2022年10月29日（土）

登録・受付：12:30

開会：15:30

閉会：18:15

会場：ウェスタ川越 2階 市民活動・生涯学習施設

活動室1・2及び音楽室1 ウニクス川越 にぎわい広場

担当：社会開発委員会

来る10月29日、ウェスタ川越及びウニクス川越にて10月例会「川越アートプロジェクト～Young Generationの挑戦～」を開催いたします。今年度、社会開発委員会では今までまちづくりに参画する機会の少なかった若者達と手を取り合い、多様な価値観のもとに勇敢なまちづくりを行ってまいりました。5月例会メイン事業に始まり、川越グローバルフェスティバル2022と地域の大学生や20～40代の若者を協働相手とし事業を展開してきました。今回の10月例会では、ひととまちが触れ合う機会が減少している中でも未来へ向けた持続可能なまちづくりを行っていく必要があるという背景のもと、一年間の集大成として若者が中心となり年間を通して認識したまちの多彩な魅力や可能性を披露し、まちを活気づけることを目的としております。私たちは言葉がなくても交流できるまちの多彩な魅力や可能性を「アート」という手法を使い発信してまいります。具体的には、川越市市制施行100周年を記念して川越の木「榎の木」の巨大アートを市民の手で折り紙を折り完成させます。また、室内では「アートを通じたまちづくりの可能性」をテーマにまちづくりコンペティションを開催し、3名の若者が川越でアートを題材にしたまちづくりプランをお披露目します。5月例会メイン事業で製作された川越の鳥「雁」を模した巨大手形アートが今例会で着物となり展示される等、魅力的なコンテンツが多数登場いたします。参加して下さった方々のまちに対する想いが更に深まり、今後のまちづくりを主体的になり行う意識が醸成されるよう委員会一同、力を合わせて準備を行っております。社会開発委員会の最後の事業となる10月例会に是非ご期待ください。皆様の御参加お待ちしております。

社会開発委員長 千田 明寛



10月例会PRチラシ

Information

◆目標を明確にする事業

日時：2022年10月1日（土）～2022年11月24日（木）

会場：WEB上

担当：青少年開発委員会

来る10月1日（土）～11月24日（木）まで、青少年開発委員会では「有言実行！目標を明確にする本気の叫び！」のテーマのもと動画作成事業を行います。

本事業は、子どもたちが明確な目標を持っていただくことを目的として行います。明確な目標を持つことにより目標達成に向かって邁進する気持ちが育まれ、結果としてどのような環境下でもぶれずに突き進む気持ちを養っていただきます。

まず、子どもたちとLOMメンバーによる相談パートを設営し子どもたち一人ひとりの想いを導き出し、自らの将来の目標を顕在化していただきます。その後、川越市内の各所にて自らの目標を叫ぶことにより顕在化された目標を明確なものにしていただきます。そして、子どもたちに対してインタビューを行い目標設定に至った背景を話していただき確かなものにしていきます。この一連の流れを動画として撮影及び編集し、不特定多数の人びとが閲覧できるWEB上に掲載することにより今後もぶれずに目標達成に向けて、邁進していただけることと確信しております。

この事業が子どもたちの今後の成長のための一助となると同時に、LOMメンバーを巻き込みながら設営することにより、LOMメンバーにとっての成長の機会にもなるよう青少年開発委員会一同で力を合わせ設営してまいります。

青少年開発委員長 渡邊 昌宏

理事会報告

◆第9回理事会

日時：2022年9月1日（木）19時00分～20時58分

会場：川越商工会議所 2階 会議室

議案

第1号議案 10月例会（案）に関する件

第2号議案 目標を明確にする事業（案）に関する件

第3号議案 第26回川越市民ゴルフ大会後援依頼（案）に関する件

全議案とも、原案通り可決承認されました。

出席理事：17名中17名

仮入会者紹介

鹿島 涼輔（カシマ リョウスケ）

事業所：株式会社ケアアシスト

事業内容：建設業

事業所住所：埼玉県川越市の場 11209-1



公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2022年9月号
発行：公益社団法人川越青年会議所 2022年度理事長 渋谷 巧
〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12
tel: 049-229-1810 e-mail: info@kawagoejc.com https://www.kawagoejc.com/
編集：総務委員会 印刷：株式会社クワイワン

the Voice of JC 2022.09

公益社団法人川越青年会議所 広報
第52巻第9号（年12回発行）
2022年 9月30日発行



Report

◆8月例会 8月定期総会並びに8月懇親会

日時：2022年8月18日（木）

<8月定期総会>

開会：17:00 閉会：18:38

会場：初かり亭 2階大宴会場

<8月懇親会>

開会：19:15 閉会：21:00

会場：初かり亭 2階大宴会場

担当：総務委員会

去る8月18日（木）、初かり亭にて（公社）川越青年会議所8月例会8月定期総会並びに8月懇親会を、総務委員会が担当させていただきました。8月例会8月定期総会では、近隣友好LOMの理事長をはじめとするメンバーの皆様、（公社）川越青年会議所第58代理理事長を歴任された三澤栄治先輩をお招きし、2023年度役員候補者並びに2022年度第一次補正予算についてLOMメンバーの皆様にご承認いただきました。第1号議案にて、次年度理事候補者として樋口直喜君が承認され、第2・3・4号議案では次年度監事候補者として、仁平広海君、小野晋一郎君、中島啓亨君が承認されました。続いて第5号議案から第20号議案にて16名の次年度理事候補者が承認されました。そして、第21号議案では2022年度第一次補正予算が承認されました。本総会の承認をもって2023年度の新体制が確立され次年度に向けて素晴らしいスタートを切ることができました。また、樋口直喜君による所信表明では、夢溢れる川越の創造に向けた次年度への熱い想いを会場の皆様感じていただけたと考えております。そしてオリエンテーションでは三澤栄治先輩より、ご自身の経験をもとにJC運動の本質や、限りある時間の中で本気でJCに取り組むこと

の意義や大切さをお話していただきました。役員含めメンバー一同、身の引き締まる空気のなか8月定期総会を閉会いたしました。

その後同会場にて、引き続き近隣友好LOMの皆様、三澤栄治先輩にご出席いただき、8月懇親会を開催させていただきました。第62代理理事長渋谷巧君、次年度理事候補者樋口直喜君、三澤栄治先輩のご挨拶に始まり、次年度監事候補者の3名が紹介され、次年度監事候補者の仁平広海君よりご挨拶を頂戴し、直前理事長神戸光邦君より乾杯の発声をいただき8月懇親会が開会いたしました。歓談が盛り上がったところで改めて次年度役員候補者を紹介していただき、近隣友好LOMの皆様からご挨拶と次年度理事長候補者、専務理事候補者のご紹介をいただきました。そして懇親会も終盤を迎え、若い我らを斉唱し、仁平監事の大締めをもって閉会を迎えました。3年ぶりに開催された懇親会では新型コロナウイルス感染対策に伴い、例年とは異なる進行となってしまいましたが、近隣友好LOMの皆様と懇親を深め、次年度へ向けて団結を図ることができたことで、今後の活動の推進力へと繋がったと確信しております。

8月例会8月定期総会並びに8月懇親会では、2023年度体制の承認を問わせていただく大変重要な場であることから、事前準備から例会当日にむけて総務委員会メンバー一丸となって臨んでまいりました。しかしながら、当日は設営や運営において反省点もございました。こちらに関しては、委員会にてしっかりと検証し12月定期総会にむけて活かしてまいります。総務委員会メンバー一同、いま一度初めに立ち返り、勇敢な人財と強固な組織づくりに向け引き続き邁進していく所存でございます。ご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げ、8月例会8月定期総会並びに8月懇親会の報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

出席率 88.1%
総務委員長 松本 隆



次年度理事立候補者所信表明を述べる樋口直喜君



第58代理事長 三澤栄治先輩によるオリエンテーション

2023年度理事長立候補所信

公益社団法人川越青年会議所 二〇二三年度
理事長立候補所信

樋口 直喜

大きな節目を迎えた川越は、本年、将来へ向けた新たな一歩を踏み出す重要な年となります。また、オリンピックや改元、周年事業など、様々な話題がまちづくりの原動力となっていたこれまでとは一転し、明るい話題が顕在化されていない今、まちづくりの底力が試されています。川越は県内で初めて市制を施行したことに代表されるように、正に先駆者でありました。そこには間違いなく、斬新な発想による将来への期待に満ちた夢と、まちが一体となり夢を実現していける自負があったに違いありません。そして、私たちはそれら先人が描いてきた夢を現実のものとして受け取り、豊かな暮らしを享受してまいりました。今こそ、我々が新たに夢を描き、語り、夢の持てるまちを牽引することで、夢溢れる川越の創造に向け力強く邁進するときです。

「夢を描けるひとづくり」

先行きが不透明な現在、期待に満ちた夢の力が必要です。また、夢を描くためには、創意で未来を照らす斬新な発想と、夢を叶えることができるという自尊心がなくてはなりません。我々は、不安定な社会でこそ、臆することなく夢を描き、その実現のために力を尽くせるリーダーへと成長してまいります。

また、夢を持ちづらくなったといわれる社会のなかで、子どもたちが夢を描き続けるためには、自己肯定感を養うことが肝要です。子どもたちは等しく社会から愛されているという安心感のなかで夢を描いてもらうことで、夢の実現への歩みを通じて社会に貢献できる人財へと成長していただきます。

「夢の持てるまちづくり」

住み続けたいと思われるまちであるためには、夢の持てるまちであることが重要です。そのため、我々は、行政との連携をさらに強固にし、市民や各種団体を牽引しながら今昔の川越を理解し、揺るぎない礎の上に、今後の新たな夢の持てるまちの姿を提示します。そうすることで、まちを一体にし、夢の一員としての矜持と期待感を醸成してまいります。

また、企業にもまちづくりの一員であることを改めて認識していただくと共に、川越の枠に収まることなく世界に照準を合わせた夢を抱き、世界から評価される企業を目指していただくことが重要です。世界から評価される企業の存在は、まちに新たな企業を呼び込む力を持ち、まちの発展にも直結するため、その実現へ向け、企業が大きな夢を育てる取り組みを支援してまいります。

「夢を語れる組織づくり」

持続可能な組織として発展し続けていくためには、会員が胸を張り、夢を語れる組織でなくてはなりません。近年、入会から間もない会員が増えているなか、規律と秩序を保ちながら夢を語れる組織であるためには、青年会議所運動が持つ力を信じる心と、会員相互の信頼と友情を育める確かな組織運営が必要です。また、過去の功績を理解し、諸先輩に対する感謝をもとに、我々の存在意義を広く発信していくことで、対内対外両面において（公社）川越青年会議所に対する期待感と信頼感を高めてまいります。そして、我々の組織に夢を持ち、志を同じくできる新たな会員をメンバー一丸となり拡大していくことで、夢を語れる組織として求心力をさらに高めてまいります。

「最後に」

川越は先人の弛まぬ努力のお陰で、成熟したまちともいわれるようになりました。しかし、成熟の後に待つのは維持または衰退です。我々は成熟よりもさらなる成長へ向け、感謝を胸に、現状に満足することなく青年の特権ともいえる大きな夢を抱き、夢の実現へ向けてひたむきに邁進していかなくてはなりません。そして私自身、第六十三代理事長という夢ある大役に一身を捧げてまいる所存です。

次年度役員予定者紹介

理 事 長	樋口 直喜
直 前 理 事 長	渋谷 巧
副 理 事 長	相原 広明
副 理 事 長	飯島 将史
(委員長連絡会議議長兼務)	
副 理 事 長	松本 隆
副 理 事 長	山本 翔吾
副 理 事 長	永島慎太郎
専 務 理 事	山口 善徳
監 監	仁平 広海
監 監	小野晋一郎
監 監	中島 啓亨
総 務 委 員 長	堀籠 重臣
会 員 開 発 委 員 長	山田 圭輔
広 報 委 員 長	上田 俊也
社 会 開 発 委 員 長	町田 佳太

青 少 年 開 発 委 員 長	古屋ナオキ
経 営 開 発 委 員 長	吉田 隆人
夢を描ける人財育成特別委員長	村山 太一
拡 大 特 別 委 員 長	海沼 秀幸
運 営 記 録 特 別 委 員 長	天野 佳明
副 専 務 理 事	藤倉 正浩

Report

◆勇敢なまちづくり共生事業

日時：2022年8月27日（土）

開会：15:00

閉会：19:10

会場：角栄商店街

担当：社会開発委員会

去る8月27日、川越市霞ヶ関にある角栄商店街で「川越グローバルフェスティバル2022」が開催されました。今事業は社会情勢の変化によりひととまちが触れ合う機会が減少している中で、かつて以上の活気あるまちの姿を取り戻すために若い世代と手を取り合い、グローバルなまちづくりを推進していく必要があるという背景のもとに行われました。

多くの外国籍市民が住まい、大学も点在する霞ヶ関地域の角栄商店街を舞台に行われた今事業は天候にも恵まれ、5650名もの人びとが参加してくださいました。協働相手にも国籍や年齢を問わず多種多様な人を巻き込むことで川越に住まう15カ国以上の人が集まり、グローバルな視点からまちづくりを広めることができたと感じております。当日は食ブースにはこのまちにお店を構える7カ国の多国籍料理屋が立ち並び、ステージでは異文化のダンスや民謡がお披露目されました。どこのブースも満席や長蛇の列で賑わい、たとえば言葉が通じ合わなくても日本人と外国籍市民の方が楽しそうに触れ合う姿がとても印象的でした。

今回のアンケート調査から多くの人が外国籍市民の方を交えたまちづくりに興味を持つようになったと御解答くださり、今後のまちづくりへ取り組む姿勢が芽生えたと強く確信しております。しかしながら、想定以上の動員があったことで受入れ態勢に不備があったことや、品切れにより閉会時間より早く閉めざるを得ないブースが出てきてしまったことなど反省すべき点も多く見受けられました。これらの反省点を今後の活動の糧として邁進してまいります。最後に、今事業に参加してくださった全ての皆様に御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。この度は本当にありがとうございました。

社会開発委員長 千田 明寛



当日は天候にも恵まれ
5,000人以上の方が会場に集まる賑わいとなりました



ポリビアダンスを披露する川越のポリビア人の方々

Report

◆会員親睦事業

日時：2022年8月21日（木）

開会：9:30

閉会：12:10

会場：鶴ヶ島フットサルリゾート

担当：会員開発拡大委員会

去る8月21日（日）、会員開発拡大委員会では「J C大運動会」をテーマとして会員親睦事業を開催いたしました。

当日設営時では悪天候でしたが次第に晴れていき、開会時には晴天となり運動会日和となりました。会員親睦事業では委員会の若いメンバーに責任ある立場を経験して経験豊かなメンバーとともに事業構築を行うことで勇敢な人財へと成長をし、拡大候補者やメンバー間の親睦を深めることで拡大候補者を入会に導くことを目的として開催いたしました。

新型コロナウイルスの拡大が終わりが見えず、メンバーも身体を動かす機会が少ない中で、学生時代の楽しかった運動会を思い出しながら本気で身体を動かし楽しんでいただきました。当日は障害物競走、ちえっこり玉入れ、綱引き、二人三脚と4種目を行いました。メンバーの皆様の笑顔、本気で競技をしている姿をみてメンバー同志の親睦も深まり下半期の事業、例会の大成功に向けてさらに活気づける事業になったかと思えます。会員開発委員会メンバーは、（公社）川越青年会議所のメンバーの一人として協力し合い一つの事業を同じ想いで取り組むことで、最後までやり遂げる力を身につけて勇敢な人財へと成長できるきっかけとなった事業となりました。

今後も拡大に繋がる事業や例会を本気で取り組んでいき、困難な状況でも勇敢に突き進む人財を一人でも多く入会へと導いていけるように邁進してまいります。拡大候補者や仮入会者とともに委員会メンバー一丸となり、残る事業や例会を一所懸命構築してまいります。当日の設営面では至らなかつた点もありましたが、反省点を活かして今後の事業がより良いものになるよう努力してまいります。

会員開発拡大委員長 古屋由里香



チームに分かれて得点を競ったJ C大運動会